

中世学研究会 第2回シンポジウム

「琉球の中世」

*主催：中世学研究会

*開催趣旨：

本シンポジウムでは、いわゆる古琉球期（10世紀～1609年島津氏侵攻）を中心に、日本（ヤマト）の「中世」との比較も視野に入れつつ、琉球社会の多核的・分散的（「中世」的？）な状況を確認し、中世における「国家」の内実を考察することを目指します。特に、那覇港を拠点とする朝貢交易を主導し、首里に集住する士族を通じて各地を支配していたという、一極集中・中央集権のイメージのみで語られがちな琉球の国家が、按司などの地方の勢力や民間の交易ルートとどのように関係していたか、また、どのような人々・港湾設備・船舶に支えられていたか、などについて、具体的かつ多角的に検証していきたいと思えます。

*日時：2018年6月30日（土）13:00～16:30 7月1日（日）10:00～16:00
各報告は1時間、質疑討論は30分

*場所：東京大学 法文2号館 1番大教室（東京都文京区本郷7-3-1）

（東京メトロ丸ノ内線・都営地下鉄大江戸線「本郷三丁目」駅、東京メトロ南北線「東大前」駅下車）

*内容：

6月30日（土）

13:00～13:20 趣旨説明 高橋慎一郎（東京大学・文献史）

13:20～14:20 報告1 「11～14世紀の琉球」
池田榮史（琉球大学・考古学）

14:20～14:50 質疑討論 小野正敏ほか

（休憩）

15:00～16:00 報告2 「東南アジアの港市国家と琉球」
岡本弘道（県立広島大学・東洋史）

16:00～16:30 質疑討論 関 周一ほか

17:30～ 懇親会（先着50名） 会場：ピアンタ本郷（文京区本郷2-30-7）

7月1日（日）

10:00～11:00 報告3 「第一尚氏期首里の外港を探る-画像史料の再検討から-」
黒嶋 敏（東京大学・文献史）

11:00～11:30 質疑討論 柳原敏昭ほか

（昼休み）

12:30～13:30 報告4 「交易船構造の革新と琉球-南シナ海型ハイブリッド船の登場-」
木村 淳（東海大学・水中考古）

13:30～14:00 質疑討論 荒木和憲ほか

（休憩）

14:10～16:00 全体討論 司会 村木二郎（国立歴史民俗博物館）・高橋慎一郎
質疑 村井章介ほか

* シンポジウム参加費：2000円

* 懇親会費：5000円

* 申込方法：氏名・所属・連絡先・懇親会出欠を明記の上、メールまたはハガキにて下記までお申込みください。準備の都合上、必ず事前の申し込みをお願いします。特に懇親会は先着順で締め切りますので、早めにお申し込みください。

* 申込先：chuseigakukenkyukai@yahoo.co.jp

〒285-8502 千葉県佐倉市城内町 117 国立歴史民俗博物館 村木二郎

* 申込締切：2018年6月15日（金）

* 注意事項：近年、東京周辺の宿泊施設は予約が取りにくくなっております。飛行機等の交通手段も含め、早めのご対応をおすすめいたします。

* 会場案内図



質疑討論は、お名前のあがっている方々をはじめ、参加者の皆様から、幅広く自由にご意見を出していただく場にしたいと思いますので、より多くの皆様のご参加をお待ちしております！

中世学研究会世話人（高橋慎一郎・中澤克昭・中島圭一・村木二郎）